

当社グループは、グループ全社員が向かうべき方向性を明確化するために、長期ビジョンとして、目指す姿（社会性ビジョン）とチャレンジ目標（成長性ビジョン）を策定し、そこに至るまでの最初のマイルストーンとして「VISION2030」を設定しました。中期経営計画は3つのステップで進めており、第1次ステップ「中期経営計画2022」を2022年8月に終え、第2次ステップ「中期経営計画2025」を2022年9月からスタートさせています（下図の通り）。

「中期経営計画2025」は、「成長軌道の回復」を基本方針とし、「持続的成長基盤確立期」と位置づけた取り組みを積極的に推し進めています。そして、

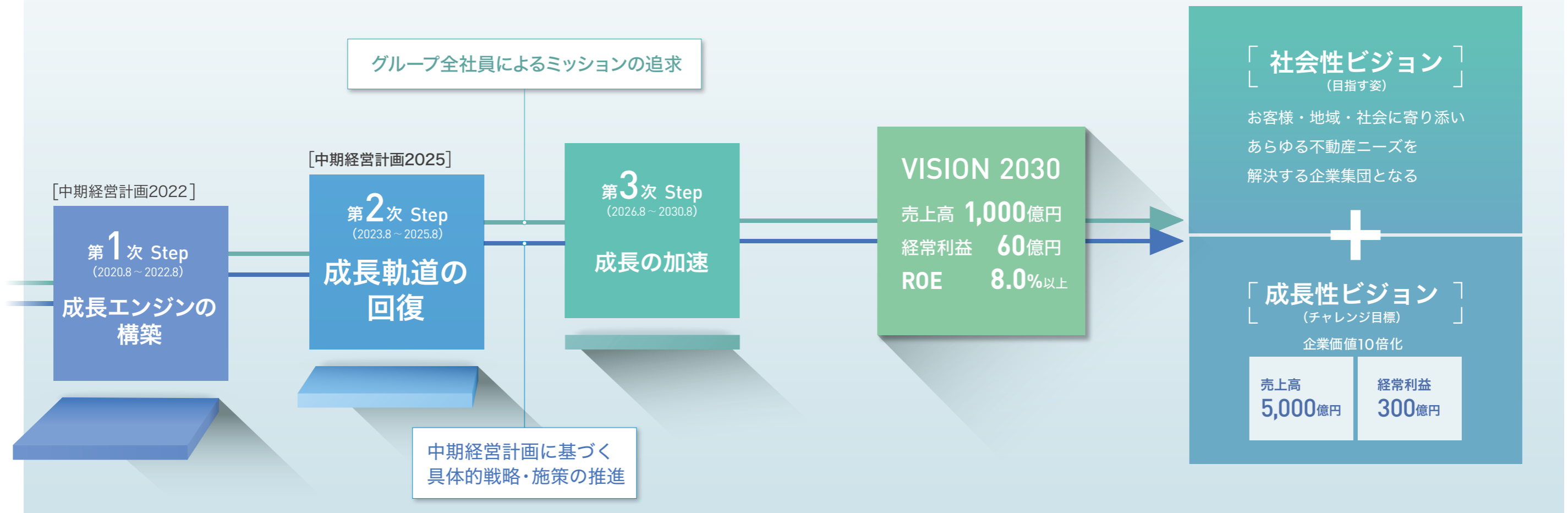
長期ビジョン実現に必要な不可欠な「総合不動産グループ化」への進化の次のフェーズとしてグループ会社の機能別再編に着手し、2024年4月から新たなグループ経営体制として“創販分離”をスタートさせました（詳細はP15-19「社長インタビュー」を参照）。

AVANTIAグループは、“創”と“販”の両機能について、専門性・品質・対応力（スピードやボリューム）など、あらゆる面での高度化を推し進め、ステークホルダーの皆様と共に、真に求められる“住まいの価値創造”を追求してまいります。

AVANTIAグループの弛まぬ挑戦にご期待ください。

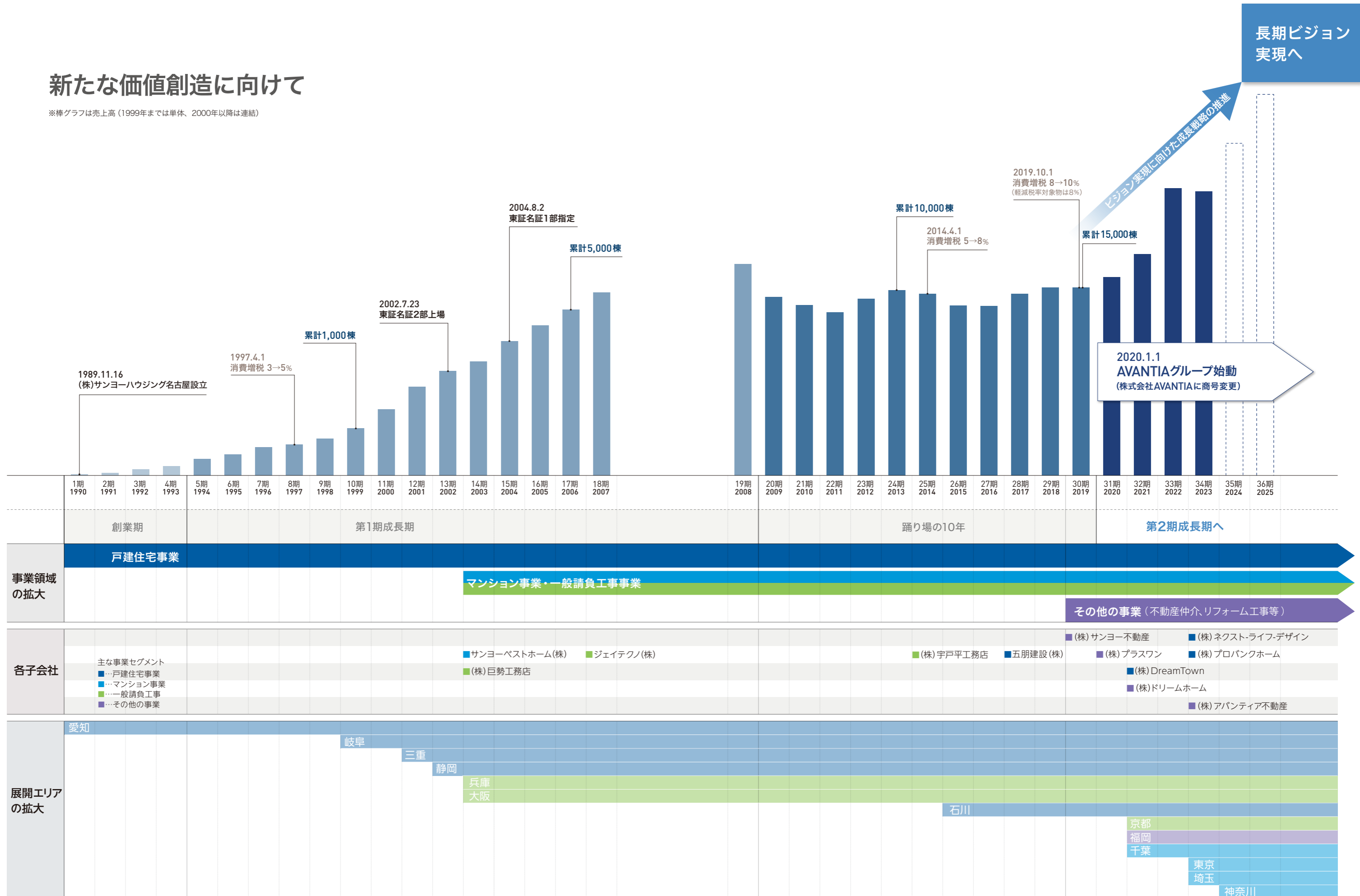


長期ビジョン

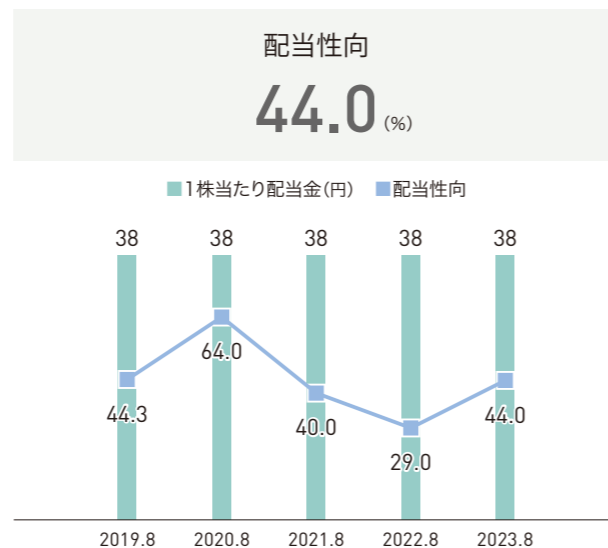
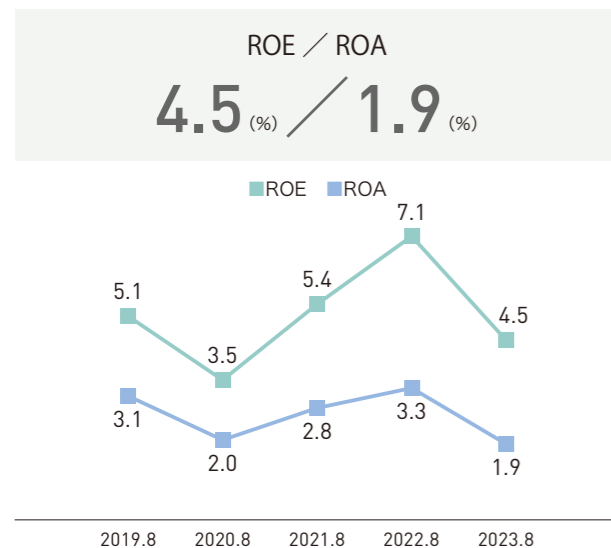
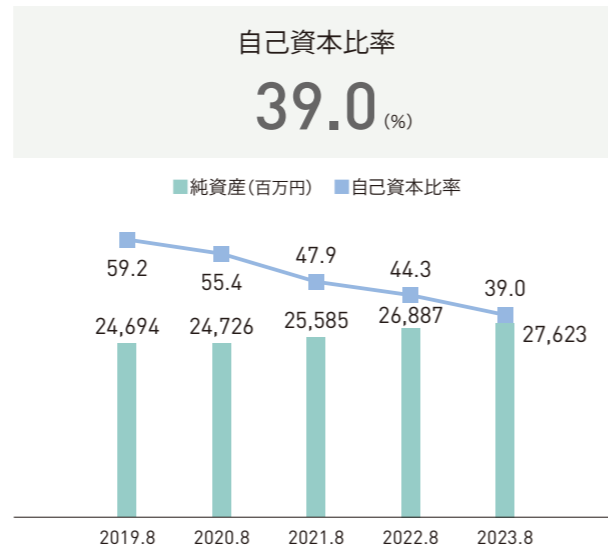
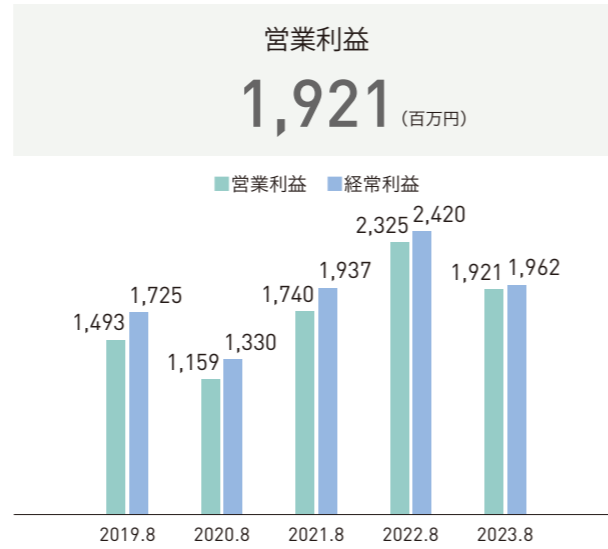


# 新たな価値創造に向けて

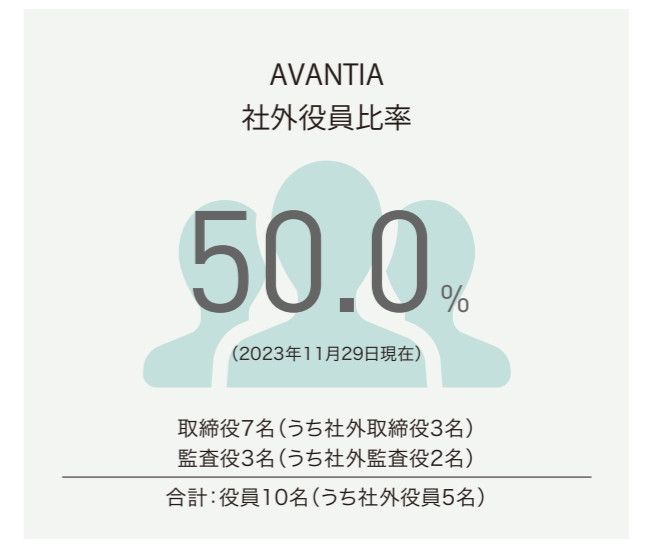
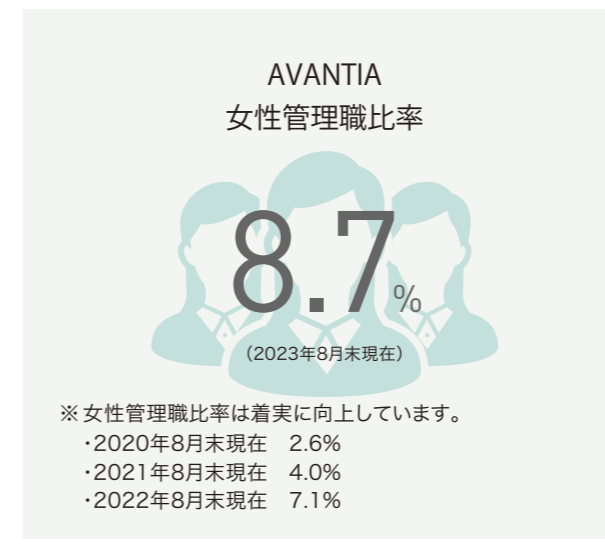
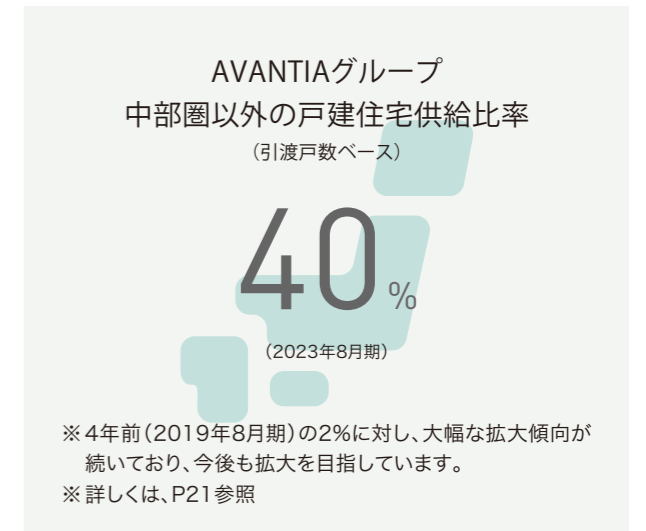
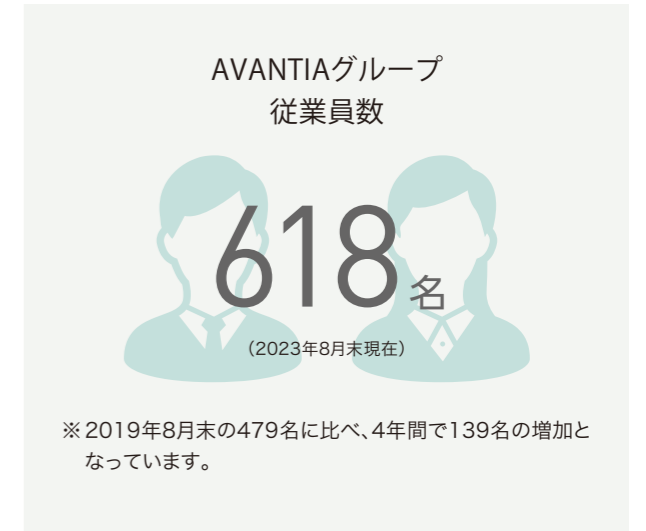
※棒グラフは売上高（1999年までは単体、2000年以降は連結）



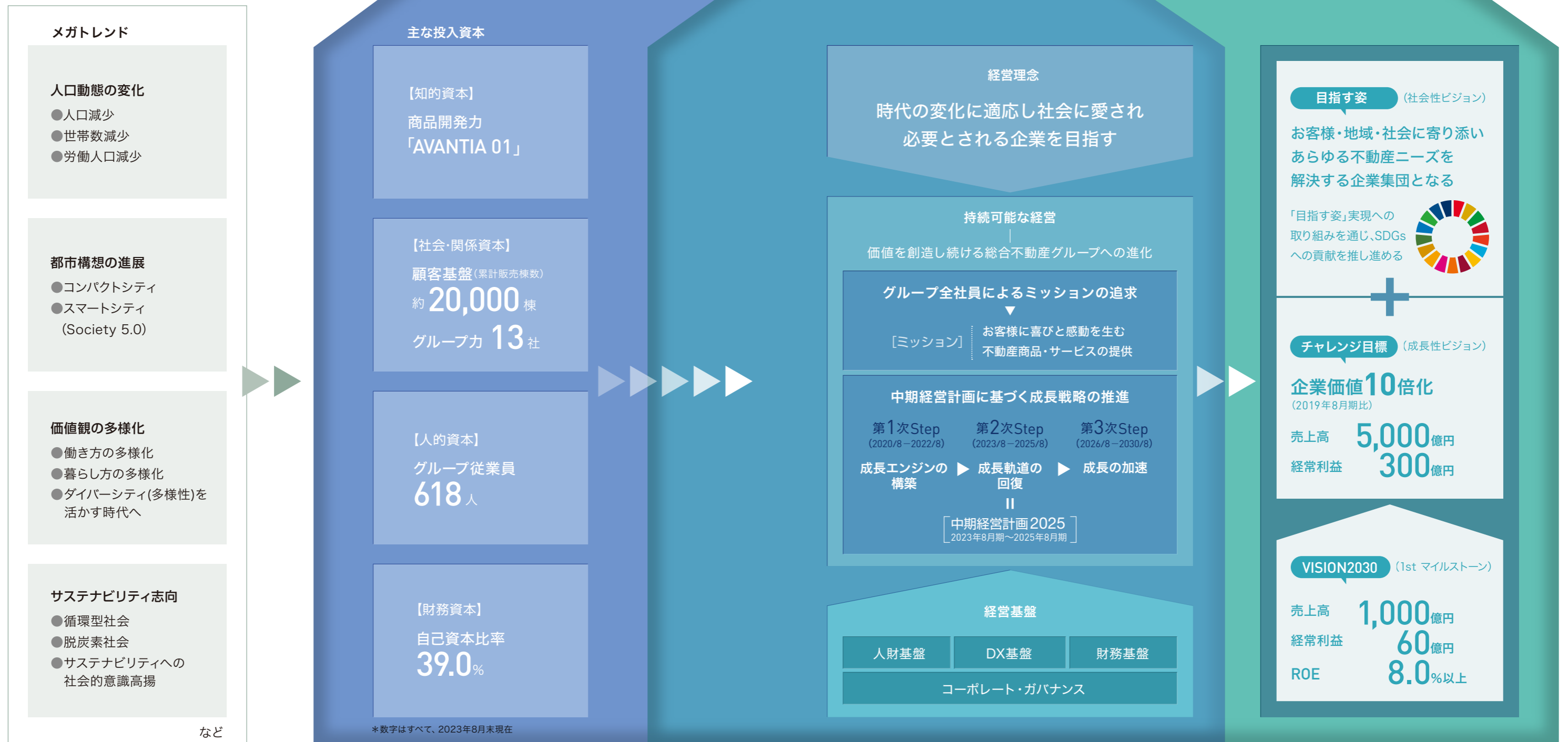
■財務ハイライト(連結)



■非財務ハイライト



# 住まいの提供を通じて ステークホルダーとの価値共創を 推し進める



総合不動産グループへの進化に向けて、コア事業をベースに様々な周辺領域の事業を成長させてまいります

### 土地分譲

- ▶ 転売可能性の高い物件、開発用地への積極的な参入

### リフォーム

- ▶ 既存顧客へのリフォーム・メンテナンス提案力の向上

### 不動産仲介

- ▶ 不動産仲介グループ会社との更なる連携
- ▶ 各地域で不動産仲介事業を拡大

## コア事業 戸建住宅

### 事業用不動産・ 収益不動産

- ▶ 事業用土地販売や収益不動産による収益化を中部/首都圏で模索

### 中古流通 (リノベーション)

- ▶ 中古需要の旺盛な首都圏中心に事業化を模索

### 注文住宅

- ▶ 住宅展示場「Harmo」と外部設計事務所との提携による注文住宅事業の強化

前中期経営計画で取り組んできた様々な周辺領域の事業を引き続き成長させてまいります。また、従来のBtoCを対象とした事業領域、サービスだけでなく、BtoBを前提とした事業用不動産や収益不動産の取扱い、リノベーション物件などによる収益化などにも取り組んでおり、これらの新たな領域については、『中期経営計画 2025』内での事業化を目指し挑戦してまいります。

## 総合不動産 グループ化

# 持続可能な未来のために ZEH水準の創エネ性能 断熱性能・省エネ性能を標準化※1



昨今の気象災害の多発や激甚化、脱炭素や環境意識の高まりを受け、当社は新築分譲住宅「AVANTIA 01」を供給します。  
住宅性能を客観的に評価できる「住宅性能表示制度」において6項目で最高等級を取得※2し、また、建物の省エネルギー性能を評価できる「建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)」でも★★★★★(ZEH表示あり)※3を取得。太陽光発電システムも標準化することで経済的にもサステナブルな意味でもより快適に過ごす事ができます。  
当社は、世界的にも注目される住環境のCO<sub>2</sub>排出削減に積極的に取り組んでいきます。


※1) 地域環境及び敷地形状により、設置できない場合があります。  
※2) 2階建てに限る。 ※3) 建物や諸条件により表示が異なる場合があります。



## 「全棟ZEH水準住宅」中部・関西・首都・九州圏で展開

### 創エネ


家庭で使う電気は創る時代。エネルギーをクリーンに創り、余った電気は売電や蓄電して効率的に使いエネルギーコストを削減。



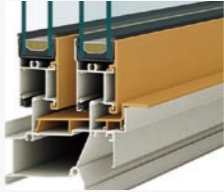
太陽光発電システム  
※地域環境及び敷地形状により、設置できない場合があります。

### 断熱

高断熱の家は冬の冷気、夏の熱気を家に入れず、室内の暖かさや涼しさを保ちます。そのため、余分なエネルギーの削減ができ、1年中快適で家族の健康が守られます。




高性能ガラスウール



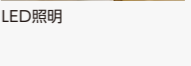
高断熱サッシ Low-E複層ガラス(断熱タイプ) +アルゴンガス

### 省エネ


エネルギー使用量を削減できる最新設備を導入し、AIを活用したクラウドHEMSでエネルギーをマネジメント。



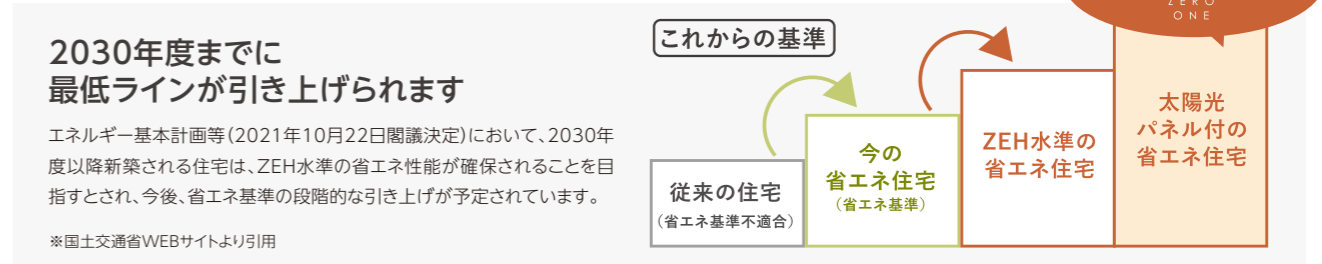
クラウドHEMS



LED照明



給湯設備  
※物件によりガス給湯器の場合があります。



## SDGsの実現に向けた取り組み

低炭素への貢献 —「AVANTIA 01」で供給100%を目指す基準—  
2025年の低炭素住宅の認定基準の省エネ基準と同等以上の断熱性能確保  
省エネ基準に比べて一次エネルギー消費量がマイナス20%以上

### 環境住宅の展開

2030年における節水節湯設備の設置率(対住宅供給数) 100%  
2030年におけるエネルギー高効率設備の設置率(対住宅供給数) 100%  
地表面被覆の環境舗装化(ヒートアイランド対策)

### 温室効果ガス排出削減

2030年における売上高あたりの Scope1、Scope2 排出量を25%削減(2021年比)  
SBT目標を設定している企業をサプライヤーとして選定することにより、Scope3削減に取り組む  
2030年における太陽光パネル等を搭載した住宅の供給率50%



## 太陽光発電で地球環境に貢献

太陽光発電システム搭載の住宅は地球環境に大きく貢献しています。



太陽光発電システムを  
5.22kW 搭載すると  
年間推定発電量は  
**6,264kW**

この発電量がどれだけ凄いのかというと…



地球温暖化に与える影響が大きい  
CO<sub>2</sub>を吸収する杉の木  
**173本相当**



ガソリンに換算すると  
約**1,391ℓ**分に相当  
これは、一般的なハイブリッドカーで  
**日本一周 2.73周相当**  
※ハイブリッドカーの燃費を約23.6ℓ/ℓと仮定した場合